

乗って残そう！生活路線バス
みんなで考え行動しよう！地球温暖化防止

公共交通を 考える 市民の集い



バス交通事業者の厳しい経営状況のもとで、不採算路線等の生活路線バスの存続が危うくなっています。バス公共交通は高齢者や障がい者、車を持たない学生など「交通弱者」にとっては、欠かせない移動手段です。

今、長野市行政をはじめ、交通事業者、企業、市民・利用者が、お互いの知恵と工夫で、生活路線バスの将来を築いていく時を迎えています。

そして、日々実感する地球温暖化…CO₂の排出を抑制し地球温暖化を防いでいくために、マイカー利用の便利さを少し我慢して、公共交通を利用していくことも大切になっています。

公共交通の「今」と地球温暖化防止と一緒に考えたいと思います。お誘いあわせてご参加ください。

実行委員長 茅野 實（県環境保全協会会長）



日時 **7月13日（日）**

PM2:00~4:30

会場 **長野市生涯学習センター
（TOIGO WEST4階）**

入場無料

駐車場はTOIGOパーキングを利用ください。
1時間100円・2時間までの割引があります。
なるべく公共交通機関を利用し参加ください。

第1部 問題提起「公共交通の『今』を考える」
交通ジャーナリスト・鈴木文彦氏

第2部 パネルディスカッション

◆パネリスト

鷲澤正一氏
長野市長

茅野 實氏
集い実行委員長
県環境保全協会会長

青柳正博氏
川中島バス
代表取締役

若林 茂氏
県私鉄労働組合
連合会書記長

◆コーディネーター

鈴木文彦氏
交通ジャーナリスト

**エコでスロー
な生活へ**

【主催】「公共交通を考える市民の集い」実行委員会
【後援】長野市／長野市教育委員会
【事務局】長野市県町 532-3 県労働会館内 ☎(235)3325